

2025 年度東京都精神障害者スポーツ交流祭 第 15 回フットサル大会

競技規則（案）

1. 競技全般

今大会の競技規則は、日本フットサル連盟競技規則に準拠する。

しかし、以下の点については、今大会特別競技規則とする。

2. チーム編成（※特別競技規則）

- ① チームは、**精神障害者及び職員等支援者**で構成。選手は 12 名、役員（監督・コーチなどのこと）3 名以内で編成すること。それ以外はコートの立ち入りはできない。
- ② 監督、コーチなどの役員が選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ出場できない。選手の数は選手を兼ねる役員を含めて 12 名以内にすること。
- ③ 試合は 5 人制で行い、うち 1 名はゴールキーパーとする。
- ④ **職員等支援者は、最大 1 名までフィールドでプレー**することができる。
- ⑤ 女性が出場する際（時間）は、最大 6 名までフィールドでプレーすることができる。

3. 試合形式（※特別競技規則）

リーグ戦、もしくはトーナメント戦にて実施予定。

試合の組み合わせは、主催者が公正に抽選により決定します。

4. 反則について（※特別競技規則）

- ① 安全性を考慮し接触プレーの禁止。
全ての接触プレーではなく、過剰な力によるショルダーチャージを禁止します。
- ② スライディングタックルの禁止。（全てのスライディングがファールではありません。）
[ファールとなる例]
 - ・ボール保持者のボールへのスライディングタックル
 - ・シュートする際のボールディスタンス範囲内のボールへのスライディング
[ノーファールの例]
 - ・シュートされたボールのコースへのスライディング（シュートブロック）
 - ・パスカットによるスライディング。
 - ・ゴールキーパーによるゴールクリアランス内の正当なスライディング。
- ③ ゴールキーパーへのバックパスは OK とする。

特に①②は微妙なプレーも多々ありますのでレフリーの判断を最優先とします。

（裏面へ続く）

5. 注意事項 ※以下のことを守れない場合、チームとして処罰することがあります。

- ① 選手は、「すねあて（レガース）」を必ず着用してください。レガースの着用がない場合は試合に出場できません。
- ② サッカー用のスパイクは禁止とします。
- ③ メガネを着用しての出場はお控えください。コンタクトレンズ、フットサルに適したスポーツゴーグルの着用をお奨めします。
- ④ 大会は屋外の人工芝のコートで行います。
- ⑤ すべての装身具（ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなど）は禁止されており、装身具をテープで覆うことは、認められません。「時計」「アクセサリー」等の貴金属の着用をしてのプレーは禁止します。
- ⑥ 膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツメガネと同様に認めますが、表面から突き出ている部分（突起物）があるものは禁止します。（ただし黒または、シャツの主たる色と同色であること）
- ⑦ その他、疾患や障害等の保護のための上記にあたらない装身具（補聴器など）を必要する場合は、エントリーシートの「その他特記事項」に必ず記載してください。
- ⑧ 金銭などの紛失等一切の責任は負いかねますので、貴重品の管理は、各自が責任を持って行ってください。
- ⑨ 危険防止のため、試合中コート内での撮影は禁止します。
- ⑩ コート内へ入れるのは選手・コーチ・監督のみとなります。給水については、ペットボトル、水筒などのフタのある飲み物以外はコート内へは持ち込めません。
- ⑪ その他の飲食は、コート内では一切禁止します。観覧席など決められた場所で行ってください。
- ⑫ ゴミはすべて各自が責任をもって持ち帰ってください。
- ⑬ 喫煙は、喫煙コーナーで行ってください。
- ⑭ 参加資格や登録選手、競技規則等に反した場合は、当会にて裁定をする。
- ⑮ その他、ルールについては審判に従うこと。また大会においては、主催者の指示に従って行動してください。